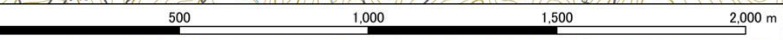
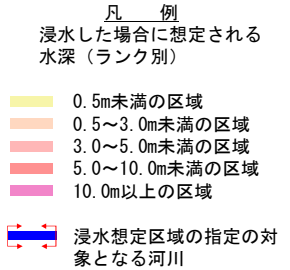


# ⑥本明川水系（半造川・川床川・小ヶ倉川・夫婦木川・倉屋敷川・新倉屋敷川） 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

1 説明文  
 (1) この図は、本明川水系の河川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の本明川水系の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により本明川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項
- (1) 作成主体 長崎県中央振興局
  - (2) 指定年月日 令和〇年〇月〇〇日
  - (3) 告示番号 長崎県告示第〇号
  - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
  - (5) 対象となる河川
    - ・本明川水系川床川（実施区間）
      - 左岸：長崎県諫早市 川床町33番の4地先の橋梁下流端から半造川合流地点に至るまで
      - 右岸：長崎県諫早市 川床町33番の4地先の橋梁下流端から半造川合流地点に至るまで
    - ・本明川水系小ヶ倉川（実施区間）
      - 左岸：小ヶ倉ダムから半造川合流地点に至るまで
      - 右岸：小ヶ倉ダムから半造川合流地点に至るまで
    - ・本明川水系夫婦木川（実施区間）
      - 左岸：長崎県諫早市小川町1825番地先から小ヶ倉ダムに至るまで
      - 右岸：長崎県諫早市小川町1874番地先から小ヶ倉ダムに至るまで
    - ・本明川水系倉屋敷川（実施区間）
      - 左岸：長崎県諫早市高城町22番地先の橋梁から本明川に至るまで
      - 右岸：長崎県諫早市高城町22番地先の橋梁から本明川に至るまで
    - ・本明川水系新倉屋敷川（実施区間）
      - 左岸：倉屋敷川の分派点から半造川合流地点に至るまで
      - 右岸：倉屋敷川の分派点から半造川合流地点に至るまで
  - (6) 対象となる水位周知河川等
    - ・告示番号 長崎県告示第586号（平成30年8月21日）
    - ・本明川水系半造川（実施区間）
      - 左岸：長崎県諫早市大字栗面本村名字一本松50番の1地先から船越名字埋津924番の33地先の埋津橋下流端に至るまで
      - 右岸：長崎県諫早市大字栗面本村名字一本松82番の1地先から船越名字埋津924番の33地先の埋津橋下流端に至るまで
  - (7) 指定の前提となる降雨
    - ・対象となる河川（川床川）
      - 流域全体にピーク時の1時間に152.8mmの降雨がある場合
    - ・対象となる河川（小ヶ倉川）
      - 流域全体にピーク時の1時間に152.6mmの降雨がある場合
    - ・対象となる河川（夫婦木川）
      - 流域全体にピーク時の1時間に152.9mmの降雨がある場合
    - ・対象となる河川（倉屋敷川）
      - 流域全体にピーク時の1時間に153.0mmの降雨がある場合
    - ・対象となる河川（新倉屋敷川）
      - 流域全体にピーク時の1時間に152.9mmの降雨がある場合
    - ・対象となる水位周知河川等
      - 本明川流域の24時間総雨量1,047mm（基準地点裏山上流域）
  - (8) 関係市町村 諫早市



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 412」  
 「背景図は電子地形図（タイル）を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。」